



SEEVA

Create Your Breakthrough

BIM 能力測定試験
SEEVA BIM Test

受験ガイド

株式会社SEEZ

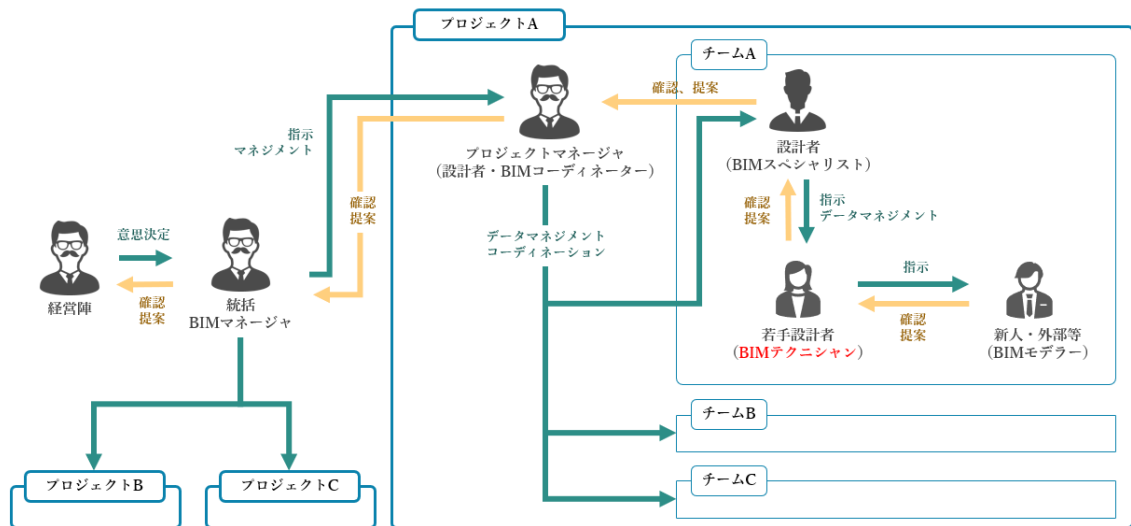
Contents

1. BIMの役職と役割について	3
2. BIM能力測定試験 SEEVA BIM Testの概要	4
3. 受験環境	5
4. 申込みと受験方法	6
5. 出題範囲	7
6. 出題例	9
7. 評価方法・公式認定証	11

1. BIM の役職と役割について

1-1. BIMの役職について

BIM Modeler・BIM TechnicianはBIMプロジェクトの役職を指します。BIMプロジェクトにおいて役職と役割を明確にすることは、プロジェクトの効果的運用を可能にします。



1-2. SEEVAにおける役職の定義

BIM Modelar

BIMの基本を理解しており、指示のもとに適切に建築モデリング及び属性情報の入出力する技能がある。

BIM Technician

建築設計・建設などのライフサイクルに関連する経験に加え、BIMの基本を理解しており、適切にBIM環境の構築と運用を行うと共に、建築物のモデリングと属性情報の入出力する技能がある。

1-3. BIM Technicianに必要な職務能力

BIM Modelar

- ・ BIMに対応できるICTの基礎知識を有している。
- ・ BIMの概念を正しく理解しており、規格などの基礎知識を有している。
- ・ 専門分野の設計者の意図を理解しBIMソフトウェアで適正な情報入出力ができる。
- ・ プロジェクトの各フェーズに適した図面作成と書き出しができる。

BIM Technician

上記のBIM Modelarの職務能力に加え以下が必要とされます。

- ・ プロジェクトチームや外部関係者と協力しBIMデータを活用し共同作業ができる。
- ・ ISO19650をはじめとする規格や、EIRやBEPの基本を理解し目標に向かって役割を全うすることができる。
- ・ BIMソフトウェアの基本操作に関して指導又は助言を行うことができる。

2. BIM能力測定試験(BIM Test) 概要

2-1. BIM能力測定試験の特徴

- BIMの専門知識や技術を公平に数値化し評価する試験
- 全国どこからでもオンラインで誰でもが受講できる
- 知識と技能に分けて出題。自分の得意不得意がわかる
- BIM Modeler Testは、いつでも好きな時に受けられる

2-2. 問題構成

BIM Modeler Tests

1000点満点（学科試験240点、実技試験760点）全40問

	時間	内容
学科試験	2時間	デジタル・ICT基礎 BIM基礎
実技試験		REVIT基礎 REVITデータインプット REVITデータアウトプット

BIM Modeler Tests

1000点満点（学科試験500点、実技試験500点）全90問

	時間	内容
学科試験	3時間	デジタル・ICT基礎 BIM基礎
実技試験		REVIT基礎 REVITデータインプット REVITデータアウトプット BIM運用

受験環境について

■受験に必要なもの

- AUTODESK Revit (LT、viewer、学生版可) ※ver2021以降
- インターネット環境
- パソコン (Windows)
- WEBカメラ

※試験中は不正防止のため、ご使用いただく試験システム上で受験者の顔をキャプチャいたします。

※試験に使用されるRevit用データのバージョンは2021となります。2020以前のバージョンでは受験ができませんのでご注意ください。2022以降をお使いの方は、データをアップグレードしてご使用ください。

•ライセンスをお持ちでない場合は、以下よりRevitのお試し版（30日間無料）をダウンロードしてください。

[Revit 無料体験版ダウンロード](#)

■Revitに必要な環境

Revitの動作環境はAUTODESK社のRevit推奨環境に準拠します。

OS	64ビット版 Microsoft® Windows® 10 または Windows 11
CPUの種類	シングルコアまたはマルチコアの Intel®、Xeon®、または i-Series の SSE2 テクノロジー対応のプロセッサ、またはこれらに相当する AMD® プロセッサ。入手可能な最高速度の CPU を推奨します。 Autodesk® Revit® 製品は、さまざまなタスクで複数のコアを使用します。
メモリ	8 GB
ビデオディスプレイの解像度	最小：1280×1024、True Color対応 最大：4 K UHDモニター
ビデオアダプタ	基本的なグラフィックス: 24ビット カラー対応のディスプレイ アダプタ 高度なグラフィックス: Shader Model 5 搭載の DirectX® 11 対応グラフィックス カード および 4 GB以上のビデオメモリ
ディスク空き容量	30 GBのディスク空き容量
ポインティングデバイス	3 ボタンマウス
.NET Framework	.NET Frameworkバージョン4.8以降
ブラウザ	Microsoft Internet Explorer 10以降
接続	インターネット接続（ひかり回線推奨）

申込みと受験方法

受験申込・受験までの流れ

受験環境・カメラ確認	チェックサイトで受験環境とカメラの動作確認をします
会員登録	テスト受験システム「SEEVA School」に会員登録します
テスト申込・支払	受験するテストを選択し、受験料を支払いをします
証明書画像登録	証明書と本人確認のために使用する画像を登録します
試験前日メールの確認	試験前日に届くメールを受信し、受験環境の再確認を行います
受験	試験10分前に席について待機。試験時間になったら、テストシステムにアクセスしてテストを開始します

■お申し込み後のキャンセルについて

一度お申し込みいただいた受験料の返金や試験日時の変更はできません。
あらかじめご了承ください。

オンラインテストシステム利用環境の確認、及びWEBカメラの動作確認

お申込み前に必ずチェックページで確認を行ってください。

システム利用要件

- OS: Windows 10 以降 または OS X El Capitan 10.11 以降
- ブラウザ: Microsoft Edge 最新版 または Google Chrome 最新版
- インターネット速度: 2Mbps以上

■インカメラまたは外付けWEBカメラ

SEEVA BIM資格試験では、不正防止のためにテスト中、WEBカメラにより受験の様子をキャプチャいたします。キャプチャができていない場合は、試験失格となりますので、パソコン内蔵カメラがない場合は、外付けのWEBカメラをご用意ください。

チェック方法については、[お申込みページ](#)にてご案内しています。

3. 出題範囲

3-1 SEEVA BIM Testsの出題範囲 ①

SEEVA BIM Technician Tests 出題範囲				
セクション	分野	大項目	項目	
学科 (50問)	デジタル・ICT基礎 (20問)	コンピュータ基礎知識	コンピュータ関連用語 パソコンを構成する基本要素 Windowsの基本操作 データ単位 (ビット、バイト)	
		ネットワーク	ネットワーク関連用語 ネットワークの種類 WAN,LAN など ネットワーク機器 ハブ、ルータなどの役割 通信プロトコル SMTP,POP,IMAP,FTPなど	
		セキュリティ基礎知識	セキュリティ関連用語 脅威の種類 セキュリティに関するベストプラクティス	
		プログラミング基礎知識	コンピュータ言語の種類 (XML,HTMLなど) プログラミング言語 (C言語、python) データベース概要 テーブル、レコード、フィールド	
		CAD・CG・XR基礎知識	CAD基礎知識 CG基礎知識 XR用ハードウェアの種類と特徴 XRのユースケース	
		時事問題 (AI、ビッグデータ、ロボティクスなど)	話題のソフトウェアや技術について	
		BIM基礎 (30問)	BIMの定義	BIMの定義 BIMの特徴 BIM関連用語について
	各種規格・各国のBIM関連基準	IFC ISO19650 各国のBIM関連情報 英国BIMレベル 米国BIMフォーラム LOD 国土交通省関連 BIM成熟度 BIMガイドライン COBie Etc...		
	CDE	ISO19650におけるCDEの要件定義 国家付属書で定義される規格		
	BIMソフトウェア	主要なBIMソフトウェアと特徴		
	実技 (40問)	REVIT基礎 (10問)	インターフェース	インターフェースの名称 オプション設定
			ファミリー・パラメータの種類	ファミリーの種類 システムファミリー コンポーネントファミリー インプレイスファミリー パラメータの種類 ファミリーパラメータ プロジェクトパラメータ グローバルパラメータ 共有パラメータ
			データ構成	モデル要素 基準面要素 ビュー要素 注釈要素 情報要素
			ファイルの種類とバージョン	プロジェクト プロジェクトテンプレート コンポーネントファミリー ファミリーテンプレート REVITバージョンについて アップグレード
基本操作			インターフェースの操作 要素の選択 修正コマンド ファイル操作 仮寸法 寸法	
ワークシェアリング			等について、基本的な使い方の知識 ワークシェアリングの概要 中央モデルとローカルモデル ワークセット 同期 ワークシェアリング解除 クラウドワークシェアリング バブリッシュ	

3. 出題範囲

3-2 SEEVA BIM Testsの出題範囲 ②

SEEVA BIM Technician Tests 出題範囲			
セクション	分野	大項目	項目
実技 (40問)	REVITデータインプット (10問)	プロジェクトの作成・設定	テンプレートファイル
			オプション設定
			プロジェクト情報
			座標・真北設定
			その他設定
			オブジェクトスタイル
		レベル・ビュー・その他基準面要素	線種
			Etc...
			レベル作成
			ビューの作成、複製
			通り芯
			参照面
		意匠モデリング	壁意匠、壁構造
			床意匠
			天井
			柱
外構			
マス			
構造モデリング	修正タブ各種コマンド		
	ファミリエディタ		
	関連付け		
	ネスティング		
属性情報入力	式、関数		
	構造柱		
	構造フレーム		
データ連携	構造基礎		
	部屋		
	エリア		
実技 (40問)	REVIデータアウトプット (10問)	グラフィックス設定	パラメータへの入力と確認
			マテリアル
			各種リンク
			各種読み込み
		集計表	コピー/モニタ
			表示グラフィックスの上書き
			フィルタ
		シート・レイアウト	カラースキーム
			アンダーレイ
			線種変更
			各種集計表の新規作成
		その他	集計表の修正
			集計表での入力
			計算式の活用
			シートの作成
			シートのパラメータ
レイアウト			
印刷、書き出し、データ連携	トリミング領域		
	スコープボックス		
	ビューポート		
	図面枠		
BIM運用 (10問)	BIM運用のベストプラクティス	警告	
		ワークシェアリング	
		バプリッシュ	
	BIM Collaborate Pro	バックアップの復元	
		ロールバック	
		ワークシェアリング解除	
BIM運用 (10問)	BIM運用のベストプラクティス	Dynamo	
		アドオン	
		印刷	
	BIM Collaborate Pro	PDF出力	
		各種書き出し	
		外部ソフトとの連携	
BIM運用 (10問)	BIM Collaborate Pro	実務的シチュエーションへの対応力	
		総合的知識	
		各モジュールの概要	
		クラウドモデル	
BIM運用 (10問)	BIM Collaborate Pro	クラウドワークシェアリング	
		ファイル操作	
		指摘事項	
		マークアップ	

4. 出題例（学科）

4-1 出題例 1

「建築分野におけるBIMの標準ワークフローとその活用方策に関するガイドライン」でのBIMの定義は次の通りである。

「コンピュータ上に作成した主に3次元の形状情報に加え、室等の名称・面積、材料・部材の仕様・性能、仕上げ等、建築物の【 】を併せ持つ建築物情報モデルを構築したもの」

【 】に入る文言として、正しいのは次のうちどれか。

- 属性情報
- 資産情報
- 建設情報
- 設計情報

4-2 出題例 2

ワークシェアリングを行う上の注意点として、次のうち不適切なものはどれか。

- ワークシェアリングを行うには、個々のPCがインターネットに接続されていれよよい。
- ワークシェアリング中は作業の干渉が起きないように、メンバー間のコミュニケーションが大切となる。
- ワークシェアリングモニターを使用することで、プロジェクトに参加しているメンバーの状況を確認することができる。
- ワークシェアリングを行う際は、メンバーが使用するREVITやアドオンなどのバージョンは統一する。

3. 出題例（実技試験）

■出題例 3

添付図面の通り、構造壁、構造柱の部屋のモデリングを行ってください。

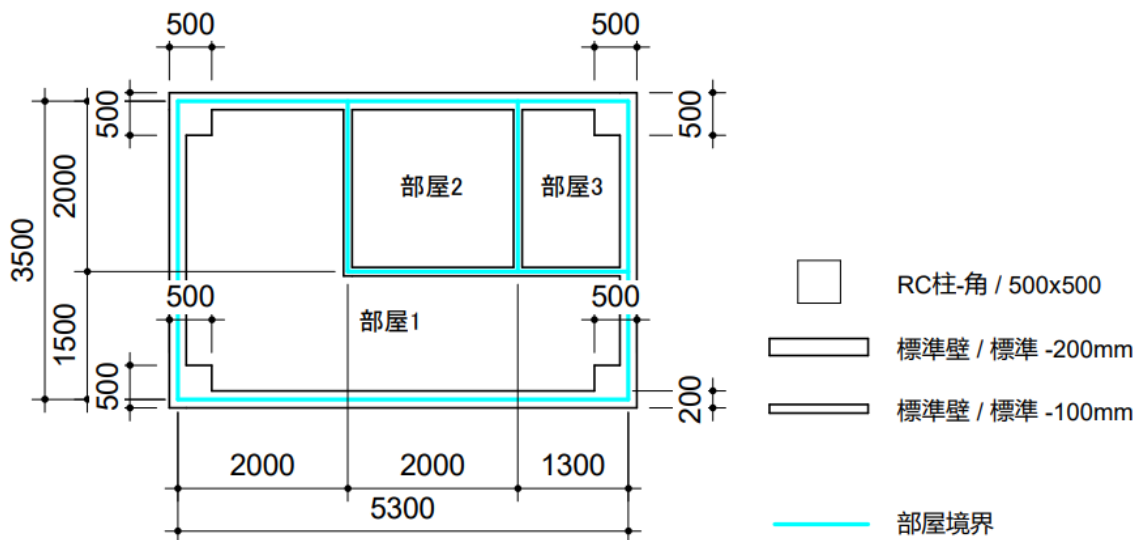
部屋面積の組み合わせとして正しいのは次のうちどれか。

※建築テンプレートで作成してください。

⇄ DOWNLOAD

- 部屋1 : 11.95㎡、部屋2 : 4.00㎡、部屋3 : 2.60㎡
- 部屋1 : 11.47㎡、部屋2 : 4.00㎡、部屋3 : 2.44㎡
- 部屋1 : 11.95㎡、部屋2 : 5.00㎡、部屋3 : 2.60㎡
- 部屋1 : 10.22㎡、部屋2 : 3.52㎡、部屋3 : 2.04㎡

テンプレート



評価方法と公式認定証

■テスト結果について

テストの結果は、SEEVAマイページに5日目に表示されます。
資格試験ではありませんので、合否はございませんが、
各分野ごとにスコアとランク、及び評価コメントが表示されます。

企業等へ提出する成績証明書は、SEEVA試験事務局から、直接企業へ送付したもののみ有効といたします。



レベル	総合評価スコア	評価（ガイドライン）
A	800～1000	<ul style="list-style-type: none"> 高い専門知識と技術を持ち、BIMプロジェクトを適切に実行できる Revitの基本的な操作や機能について深く理解し、複雑で高度なタスクに対応できる。 3Dモデリングの技術が習熟、ファミリーの作成や編集によって複雑な建築要素を作成すること業務で貢献できる。 プロジェクトチームでは、経験値の高いチームメンバーと共にプロジェクトを実行できる。
B	600～799	<ul style="list-style-type: none"> BIMプロジェクトチームでBIMテクニシャンとして業務に対応する力を持っている。 プロジェクトを進める速度や正確性も高く、必要に応じてプロジェクトで部品を作成や修正する技術がある。 知識と技術をバランスよく備えており、メンバーに質問された場合など十分に対応できる。
C	400～599	<ul style="list-style-type: none"> BIMプロジェクトの一定の範囲で業務を実行することができる BIMプロジェクトにおいて基本的な知識とRevitの技術を備えており一般的な基本設計を実行するに支障はない 複雑なプロジェクトや詳細部分では、チームメンバーと協力しながら業務を進める必要がある
D	200～399	<ul style="list-style-type: none"> BIMプロジェクトチームで指示をもらうことで一定の作業ができる 技術面での理解度が不十分のところが多く、マニュアルの確認や質疑が必要で作業に時間がかかる BIMプロジェクトの基本計画から基本設計の初期段階に参加できるが、その後のフェーズでの作業は難しい
E	0～199	<ul style="list-style-type: none"> BIMプロジェクトに参加できるまでに至っていない 基本的なBIM関連の知識と技術が不足しており、部分的にしか理解できていない BIMプロジェクトで他のチームメンバーや関係者との作業は難しくスキルの修得が必要である

■公式認定証の発行

企業等へスコア証明書を提出する場合は、試験終了後メールにご案内する申込フォームよりお申込みください。
証明書は、弊社から直接送付したもののみ有効とさせていただきます。

お問い合わせ

お問い合わせ

SEEVAに関するお問い合わせは、メールまたはLINEにてご連絡ください。

Mail: seeva.info@seez-inc.com

LINEは以下のQRコードから公式アカウントを追加してください。
BIMに関する情報も配信しています。

